

2024 年度 0 時間目の記録

2024 年5月 13 日(月)~5 月19 日(日)

栽培中の植物

ポリポット ● ジニア(プロフェュージョン) ● マリーゴールド(ボナンザミックス) ● センニチコウ(オードリーホワイト、) ● バジル ● コリウス	畑(分区園) ● エダマメ(いきなまる) ● 夏野菜 トマト、ナス、ピーマン、トウモロコシ、キュウリ、スイカ、カボチャ、ズッキーニ
---	--

栽培管理内容

日時	天気	気温	管理・植物の様子・指導
5/13(月) 8:00	雨	気温(18℃)	● マリーゴールドのスペーシング ● 乾いているポットのみ灌水 ● 葉が大きい苗は、蒸散で失われる水分が多いため、灌水量に注意する(写真1)
		最高(24℃)	
		最低(17℃)	
5/14(火) 9:00	晴れ	気温(27℃)	● 温室と分区園すべての苗に灌水した ● 南北の窓を開放した ● 一部のポットの鉢土表面にコケがみられたため、はがして灌水を控えた
		最高(30℃)	
		最低(10℃)	
5/15(水) 8:00	曇り	気温(22℃)	● 温室の苗に灌水した ● どの苗も葉が大きくなってきたので、はす口(ノズル)を葉の下にもぐらせ、できるだけ鉢土の表面に直接水を与えるようにした ● 南北の窓を開放した
		最高(32℃)	
		最低(11℃)	
5/16(木) 7:50	晴れ	気温(29℃)	● 灌水をおこなった ● トマトの腋芽をとった(摘芽)
		最高(30℃)	
		最低(18℃)	
5/17(金) 9:00	晴れ	気温(28℃)	● 気温が高くなってきたら・・・ 温室内が 30℃以上になったら、側窓を開けて風通しをよくする。風が強い日(目安:5m/秒以上=扇風機の強レベル、軽いものが飛ばされる)は側窓を開けず(風が吹き込まない方の側窓を 10cm 程度開けることはある)、換気扇を回して調節する。天窓は風速 10m/秒以上が予想される場合
		最高(30℃)	
		最低(14℃)	

2024 年度 0 時間目の記録

			<p>(目安:傘が差せない、風に向かって歩くことが困難)は閉める。</p> <p>気温が30℃以上の場合、蒸散が盛んに行われるため、朝に加えて夕方にも様子を見に行き、乾いていたら灌水する(特に葉数が多い苗)。また、アブラムシは、3月以降、気温上昇とともに繁殖も盛んになる。葉の表裏、茎の生長点付近、蕾付近などを観察し、見つけたら濡れたティッシュでふき取る、早めに食毒剤(例:オルトラン粒剤。適用可能時期や適用作物を確認すること)をまくなどして増殖を防ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トレーに並べて管理していて、奥(内部)の苗の生育が悪いなら、灌水のクセ(内部の苗に十分水が供給されていない)や日当たり(通路側の苗の方が光を受けやすく生育がよい)による生育のムラの可能性がある。トレー内で位置を交換し、どの苗も同様に水や光量を与えて生育を揃える ● 駄温の浅鉢に播種(底面給水)したコリウスを一芽ずつポリポットに鉢上げした。根を傷つけないように子葉1枚を親指と人差し指で優しくつまんで引き離していき、鉢からポリポットへと移植した(写真2・3) ● ポリポット苗のスペーシングをした
5/18(土) 8:00	晴れ	気温(27℃)	● 全てに灌水
		最高(32℃)	● 側窓と南北の窓を解放し、風通しを良くした
		最低(13℃)	● 花壇に定植したマリーゴールドが根元から折れていた。16日の定植後には折れていなかったため、作業ミスではないと考えられる。原因が不明であるため、観察を続ける
5/19(日) 8:00	曇り	気温(21℃)	● 来週、実習でペチュニアを花壇へ定植するため、開花している花を全て摘花した(写真4)。開花した花をつけたままにしておくと、花を咲かせることに養分を消費してしまい、株の老化が進んでしまう。実習時に状態の良い株を提供するためにも、摘花を行った
		最高(36℃)	
		最低(18℃)	

2024 年度 0 時間目の記録



写真 1 5/13 萎れたヘリクリサムの葉



写真 2 5/17 コリウス鉢上げ前
子葉が展開して葉が重なり始めている



写真 3 5/17 コリウスの鉢上げ
片方の子葉を親指と人差し指でつまみ、
土を入れて穴を開けたポットに根を入れる



写真 4 ペチュニア摘花前
開花している花を摘む